



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

日音協第56回定期総会

再び音楽祭の今後のあり方について討論していく

日音協は11月16日、東京都豊島区の駒込地域文化創造館で第56回定期総会を開催しました。14支部の代議員15人をはじめ、役員、傍聴者など26人が出席しました。

議長に岩藤範雄さん(東京都支部)を選出した後、松本会長が「第52回音楽祭の成功、そして秋田県支部のがんばりに感謝。この1年間、若い会員を増やすことを強調したが、2人の若い会員を迎えた。活動方針案では音楽現場をつくることを改めて強調している。積極的な議論を」とあいさつしました。

経過報告、会計報告に対して、14支部が発言しました。
【秋田】52音楽祭に多く参加ありがとう。準備がんばった。21日に総括の実行委員会を予定。連合平和の夕べ、食と緑フェスティバル、東北ブロック合宿に取り組んでいる。11月30日に、桜庭智英コンサートを予定。

【富山】北陸ブロック合宿は、初日はコンサート、翌日は3人に「音楽と私」を話して頂いた。アコ研が8月に黒部市国際文化センターコラールのぶつとおしライブに出演。

【東京】昨年の12月都支部コンサートに87人。2月総会。3月マーチンマーチ、外国人労働者の集いで演奏。さよなら原発集いで送り出し演奏、イットクフェスティージも担った。5・3憲法集会。うたえと「翼をください」は英語バージョン。音楽祭に向けて選曲会議で時

間をかけて作曲を議論、構成詩をつくった。田中淑子さんが逝去。

【沖縄】昨年12月に路上でクリスマスコンサート、10のグループ。3月フクシマとの絆ライブは路上ライブに切り替えた。4月沖音協合宿。5月は平和行進。沖音協、日音協の出発式、県民大会ステージが定例化。

【長野】台風で塚本さんお連れ合い実家が被災、練習会場も使えなくなかった。ブロック合宿は1人の参加。ジグソーパズルも続けてきたが、ここの、2回やっていない。

【千葉】6月ふれあい音楽広場。暮れに日音協ソングをうたう会だが、今年は12月に「地底のうた」を歌う会を開催する。6月ピースフェア2019 in千葉に合唱団ミールが参加。中央や東京に参加している。

【北海道】1月に合宿と総会。5月ミーティ。8・6原水爆禁止札幌集会ダイ・イン。6月と8月に音楽祭に向けた合宿。10月に道下代議士の交流会で演奏。11月歌っていいんでないかい2019を開催。11月23日は幌延テレー北海道集会。

【香川】1月平和労組会議旗びらき。県支部総会。3月県青年団結集会。5月はミーティ改めワークフェスティバル。8月反核平和の火リレーと平和友好祭。月1回集まって練習を継続している。

【岩手】12月にはたらくもの音楽祭 in 岩手を開催。今年は7日。翌日県支部総会。豊巻会長は久慈市

議選再選。野中靖志さん(49歳)音楽祭若手県実務局長(次長)が盛岡市議選に当選。

【新潟】6月から竹内さんが全国幹事に。1月自治労旗びらき、2月社民党、平和センター旗びらき。3月自治労決起集会。ミーティにはかわっていかない。7月自治労大会、9月自治労現業公企決起集会。10月南魚沼市のつむぎ通り軽トラ市。県職労と仲間のコンサートを再び2月に開催予定。

【青森】市議選決起集会と反核燃集会でPAとつたこえを担当。総会が開けていないが、まず集まって話す場をつくりたい。

【九州】労組と関係は佐賀だけ。昨年11月の護憲大会に参加。今年は音楽祭に出演できなかったが、来年千葉に向けて準備したい。

【福島】3月の原発のない福島を！県民大会は、集会規模が縮小されて声がかからなかった。音楽祭に宮城、山形の仲間と一緒に東北南ブロックとして参加。一人ひとりの地域、サークルで活動している。

報告事項を承認したあと、活動方針案と諸会計予算案を提案。「2月のセミナーは創作をやるのか、何をやるのか(千葉)」、「過去出版物の買取りのことが書いてあるが、どうなのか(富山)」、「音楽祭で返しが聞かえなかった。気持ちよく演奏できることは大切。日音協の音響に対する方針は(北海道)」、「気持ちよく演奏するために、スタッフに何を

求めたらいいのか、セミナーで取り上げてほしい(東京)、「リハでは気持ちよくうたえたのに、本番ではよくなかった(千葉)」、「第54回音楽祭を沖縄で引き受けた(沖縄)」と発言があり、佐藤副会長ほか「セミナーの内容は17日の幹事会で議論する。過去出版物を一時期半額で買い取ったが、今は消極的。音楽祭の音響は事実上開催地支部に任せている、今後検討する。セミナーへの要望を受け止めて幹事会で議論する。若い会員の交流会の参加者が6人に増えた、来年2月に開催し、千葉に向けて準備したい」と答え、議長が「第54回音楽祭の沖縄開催に向けて準備」と集約。活動方針と予算は提案通り決定しました。

また副会長を2人以内とする規約改正案が提案され、「若干名、または3人以内としてはどうか(沖縄)」の発言に「今後への要望と受け止める」という答弁を踏まえて、提案通り決定しました。

音楽祭の現状と今後のあり方については、「支部、サークル、全国労組音協などでの議論を改めて要請」「2022年以降の音楽祭のあり方は、2020年7月に開催予定の全国代表者会議で集中的に議論」「第57回定期総会までに方針を確立」と提案。「連合の協力が得られるか不安がある。日音協がどう労働運動とかわるかが大事。日音協の会員に現役組合員が少ない(沖縄)」、「始まりは労働組合だった。どこを私たちが運動する場としてつくっていくか(北海道)」、「自治労以外の労組に広げることができないでいる。連合に踏み出して何を訴えるかが重要。うたで何を表現するのかを問い直す作業が必要。その

2020日音協セミナー&若い会員の交流会
2020.2.21(金)~2.23(日) 東京都小平市・学園坂スタジオ他



日音協ソング 2019 応募曲集

Table with 3 columns: 応募曲 (Entry Song), 作者名 (Author Name), 頁 (Page). Lists 23 songs and their authors.

日音協のみずからを表現する運動の重要な柱である創作を推進するために、日音協ソング2019を募集したところ、6支部の10人と1グループから16作品の応募がありました。ありがとうございます。

作品集は上記のようなパンフレットにまとめ、会員の皆さんの分は総会の場において各支部の代表者にお渡ししました。読者の皆さんには後ほど郵送いたします。

本来選考委員会の委員および委員長クラスの方からも応募があり、今回も幹事会の力量が試される選考でもありました。

個々の作品を、楽譜・音源（なければ演奏して）にて、2回の幹事会で決定しました。

反応・批評がないのは作者に対して失礼だということ、いろいろ評価・感想を交わしました。（今紙面では個々のコメントは差し控えますが）後ほど出された意見は作者の皆さんに送ることにしています。

ということで、幹事会としては、次の4曲を日音協ソング2019として推薦します。

(あいうえお順)

- ありがとう 詩=津谷さつき 曲=桜庭智英
生きる 原詩=相良倫子 詩=笠木博逸 補詩=守谷明宏 曲=笠木博逸
紙ひこうき 詩・曲=大嶋忠男
隣の家 ウチの家 詩・曲=宮脇昌典

なお、日音協総会開会に際し、幹事会で分担して4曲を演奏し紹介しました。

(副会長・佐藤)

上で、全国規模の音楽祭の議論がある(新潟)、「みなさんの発言をなるほどと思う。幹事会提案は音楽祭をやる、やらないの二者択一ではないか。労組との関係は二者択一でない(東京)、「日音協の運動を継ぐのは労働者。労働組合は連合だけではないが、ナショナルセンターを無視できない(千葉)、「イットクフエスなど、一緒に音楽をできる人の演奏を聴きに行つてつなごう(坂口幹事)、「音楽祭の今後のあり方は、音楽運動のあり方。音楽祭の、日音協の持続可能性の問題。労組とのつながりも努力(竹内幹事)、「日音協規約は個人が会員、県支部は労組を会員にしている。規約上の統一も必要(若手)という発言を受け、当面、7月全代まで議論することを決定しました。(松本敏之)

役員選出では、坂口美日さん(東京都支部)を新たに副会長に選出し、ほかの役員はすべて再選しました。

- 会長 松本敏之(茨城県支部)
副会長 佐藤康弘(青森県支部)
副会長 坂口美日(東京都支部)
事務局長 金田光弘(茨城県支部)
幹事 白石信吾(東京都支部)
幹事 後藤雅裕(秋田県支部)
幹事 細川剛(香川県支部)
幹事 塚本昇(長野県支部)
幹事 竹内崇史(新潟県支部)
幹事 磯野宏之(北海道支部)
監査 山城文雄(沖縄県支部)
監査 森理子(東京都支部)
事務局員 森理子(東京都支部)
ホームページ担当 南原敏志(香川県支部)

音楽祭中央実行委員会を開催

日音協は11月16日、第56回総会に続けて第53回はたらくものの音楽祭第1回中央実行委員会を開催。14支部が出席して、日音協松本会長を実行委員長とする実行委員会の発足を確認しました。

会議では、千葉の代表が、「地底のうた」を京成吹奏楽団と一緒にオープニングでうたうなど、企画の検討状況を報告。全国交流会、千葉県実行委員会の構成、合評会と各支部感想集の扱いなどを議論しました。

音楽祭までの日程

- [2019年]
11月 第53回はたらくものの音楽祭中央実行委員会
12月
[2020年]
1月 千葉県実行委員会
2月 1日 第2回日音協幹事会
2月 日音協セミナー2020&若い会員の交流会
3月
4月 中央メーデー
4月 28日 エントリー×切
5月 9日 出演申込×切
5月 14日~17日 日音協の沖縄行動
5月 29日 司会原稿、舞台配置図提出×切
6月 12日 仕込み
6月 13日 音楽祭一日目、全国交流会
6月 14日 音楽祭二日目

2019東京都支部コンサート 届けたい私たちの歌



小島さんの送別企画



寺島博之さん

11月24日(日)、北区滝野川会館にて、2019東京都支部コンサート『届けたい私の歌』を開催した。早々に音響機材の搬入が済んだのに、可動ステージのポルトが壊れていたり、開演直前に会場からマイクの持ち込みは禁止していると言われ、慌てて借用手続きをしたりと、慌れているはずの会場なのにドタバタ。オープニングの都支部会員は板付きのまま、司会の桑原さんが自身の地域活動のネタで時間を稼いでくれた。出演は11団体。メイウィンズ、Roo&Tatsu、風来帽子、狭石啓

子、寺島博之、反原発うたいたい、フジミグループ、ういみん、おだかずや、あんくるん、49(フォーティ・ナイン)。フジミグループは初出演。小気味のいい替え歌で会場を湧かせた。寺島さんは3年ぶり。歌声健在、シャンソンの甘い響きを披露してくださった。反原発うたいたいは、8月に亡くなった田中淑子さん(ヨッシー)を偲び、彼女の作詞した歌を歌った。ヨッシーの名言「歳をとると『きょうよう』と『きょういく』が大事なよ。『今日、用がある』は『今日、行くところがある』は



小島方さん

共感を呼んだ。グループの他に、オープニングの構成「いつかみんなになるひとりのために」、今年6月、避難先の武蔵野市から郡山に移られた小島方さんを送別する企画『原発事故は終わっていない』を都支部として演奏した。この企画では、小島さんの東京での避難生活が映像と歌とご自身による詩の朗読とで綴られ、会場はしんと静まり、耳を傾けた。小島さんの講演活動とともに歌うことで、私たちは歌う場を広げられた。心から感謝したい。



フジミグループ

参加者は88名。末広がりです。出度い数字。アンケート回収率は25枚、なかなか良い回収率ではないか。終演後、「一緒に歌いたいの。どこに行けばいいの」と尋ねてきた人がいた。嬉しいなあ。金曜日の築碓坂と、メーデー合唱団を紹介した。開かれた「うたの場」がある。いつでもどなたでもどうぞ。(森 理子)

- 1 とき 2020年2月21日(金)夜集合、23日(日)15時まで
講座は22日(土)9時から。
- 2 ところ
(1) 講座は学園坂スタジオ(東京都小平市学園東町1丁目7-41 3階)
(2) 宿泊はビジネスホテル一茶本館ほかを予定します。
- 3 内容
(1) 第50回はたらくものの音楽祭(2017年7月:東京都江戸川区)でゲストとして演奏いただいた港大尋さんを講師に迎え、アレンジまたは演奏法をまなぶことを中心にします。
(2) 港大尋さんは、地域で子どもたちと一緒に演奏するなどの地域活動をしておられます。私たちにも参考になるのことがあるのではないかとということで、地域活動についてのご講演も予定しています。
- 4 参加費と交通費一部負担など
(1) 参加費:18,500円(2泊、朝食、21日と22日の懇親交流会含む)
(2) 日音協セミナーに参加する日音協会員で各支部1人につき、往復交通費のうち13,000円を超える分を日音協が負担します。
(3) 22日(土)と23日(日)の昼食は各自でとってください。(1)「参加費」に昼食代は含みません。
- 5 参加申込み
1月23日(木)を第1次締め切りとして、日音協事務所あて、お名前、全日程参加かどうか、持ち込み楽器、連絡先などを明らかにして申し込んでください。

日音協セミナーのご案内

2020日音協セミナーと、同じ日程で開催する若い会員の交流会(内容省略)の概要をお知らせします。多くの方の参加をお待ちしております。(幹事会一同)

FMカンパニー まだまだ長い旅の途中 うたっていいんでないかいコンサート

11月2日(土) FMカンパニー(北海道支部)は2年ぶりのコンサートを前回と同じ地下鉄琴似駅直結の「ターミナルフラザ」にパトスで行った。参加者は総勢105人。家族、友人、職場、組合、退職者連合、議員など総動員しての成果である。2年ぶりというのは、当然出演者メンバーも2つ年をとり平均年齢63歳となつてしまった。老人クラブの演奏会と揶揄される向きもあるが、的場さんを筆頭にメンバーも「まだまだ元気で旅の途中なのだ」と粹が、午後5時から8時まで10グループがそれぞれ演奏した。

オープニングはテーマソング「うたっていいんでないかい」をFMカンパニーが披露。つづいて構成詩「大地の風」の当時のメンバーが集まったN.T.T労組札幌退職者の会G&B総勢14名が「わたつみの歌」など2曲を熱唱、まだまだ歌の上手さは健在だ。

続いて、笠木&沼前は昔懐かしいCCRの「雨を見たかい」を「アベを見たかい」と替え歌にして安倍政権を痛烈に冷やかした。
まとはよしおさんは、「ありがとう私の唄」など今村一男さんの曲を3曲ピアノ弾き語りで熱く歌い上げた。



まとはよしお

続いてCFボーイズの村雲孝さんは「なにがなんだか第1章、第2章、第3章」を披露。第1章で「真鱒、室鱒、アジフライ、クサヤ」を歌い、第2章では昭和名曲のオンパレードで「今日のクサヤは旨かった。後はアジフライを食べるだけ」(山谷ブルース)と続き、第3章では「南無弥陀仏」と神や仏まで広がる村雲ワールドを11分に渡って熱演した。



カコちゃん

カコちゃん(石川加鶴子)はパンドの衣装をまといバラード曲の「強く」など3曲を披露。
ブルートレインは、オリジナルメンバーの関克己も加わり、「海のある街へ」「ブルートレイン・ブルース」などを厚みのある歌を響かせた。



ブルートレイン

トリは、ブービーバンド。まずは着物姿でねっちゃんが登場。『安倍晋三、ウンコたれ、令和まで、でしゃばって、手のひら返し、消費税、命がけ、憲法改正、いやーだね、年金も、森加計も、もみ消して、てなことやってりやダメだべさ。』と「しりとり演歌2019」で始まり、仕舞には「ハボミアン、ラフンティ」でランニング姿に胸毛をだし「安倍を倒したらみんながチャンピオン」と右手を突き出し「そだね〜」で締めくくった。

朴保(ハクポー)も東京から駆けつけてくれゲスト出演、魂のこもった歌を披露。お酒も入って会場は熱気と笑いに包まれ、「また2年後に逢いましょう」でお開きとなった。今回は日音協の仲間からの「友情出演」は叶わなかったが、またの機会に待ちたいです。
(磯野宏之)



ブービーバンド



FMカンパニー



笠木&沼前



CFボーイズ



岩崎 天羽 外尾 的場 藤川

「七まがり恋歌」の岩崎守氏が逝く

10月9日、岩崎守氏が永眠しました。死因は「間質性肺炎」で、薄い肺胞壁に炎症や損傷がおこり、壁が厚く硬くなり、ガス交換がうまくできなくなる難病でした。1月、2月、3月と入院し、その後退院し体調も良かったようですが9月に再入院。病には勝てませんでした。

彼は全電通新潟県支部音サ協の活動や日音協新潟県支部の活動に尽力し、その活動が評価され、1979年に開催された「第12回日ソ友好労働組合集会＝ミンスク集会」の日本代表団の一員に選ばれ、藤川・的場・天羽・外尾の仲間と共にソビエトの各都市で演奏を行いました。

彼は多くの曲をつくりました。「岩崎守と言えば七まがり恋歌(うたのひろば・選集)」と言われるように、この歌は誰もが知るところですが、彼のスマホの着メロは「ふるふるふる(うたのひろばⅢ)」だったことを思い出しました。2番の最後の歌詞「降りそそぐ雨のように絶え間なく大地を打つ」のところに彼の強い意志を感じます。合掌

(新潟県支部 今村一男)

日音協 Google グループを開設

日音協はこのたび、日音協会員を対象とする Google グループを立ち上げました。日音協グループ(メンバーリスト)は日音協会員で希望する方はだれでもメンバーになることができます。グループのメールアドレスに、登録されたメールアドレスからメールを送ると、登録されているメンバー全員にそのメールが届きます。日音協にかかわるさまざまな情報交換、たとえばイベントの告知、お問い合わせ、日音協の活動にかかわる意見など、自由にご発言ください。

機関紙をメールで受け取る会員には Google メールへの招待のメールが届きますので、このメールに書かれた方法に従ってグループのメンバーに登録してください。機関紙を郵送で受け取る会員もこのグループに登録できますので、Google グループに登録を希望するむね、日音協あてメールを送ってください。



「ほろのべ集会」に参加して

「暖かいねえ」「そだね〜」。

11月23日の勤労感謝の祭日は、FM カンパニーにはこの34年間ない。1985年11月23日に旧動燃が「高レベル放射性廃棄物の貯蔵・研究施設」の建設に向けて、抜き打ちボーリングを強行して以来、毎年、「ほろのべ集会」は開催されている。

以来34回ずーっと休まず「前段演奏」をしてきた。いつもは吹雪のマイナス5度の寒さでギターを弾く指がちぎれそうになる思いをしてきたが、今年はなんと10度の「暖かさ」である。この30年あまりで温暖化ははっきりと見て取れる。

さて札幌から幌延まで280キロ。5時間かけて現地に到着。20分の演奏をして集会に参加してまた再び280キロ5時間かけて任務終了。なんと体力のいる任務なのであるが、今年で34回目で、その謝礼は一回3枚とするとこれまた大した額になるもんだ。

2000年に「核抜き条例」で研究センターを受け入れ、20年程度で研究は目途が立つとしていたが、今年8月研究センターは2028年までの更なる延長を北海道と幌延町に求めてきた。延長の撤回と研究施設の解体を強く求めて集会を終え闘う決意を確認したが、今後延長が決まってしまうと後9回集会は続くことになり、自分たちの「前段演奏の延長」の方が出来るのか心配なのである。

(磯野宏之)



11月30日に開催された、第56回佐賀県平和と権利を守る女性集会に、日音協九州支部として歌唱指導をしました。支部会員3人とアイ女性会議鳥栖支部の7人で4曲歌いました。「決意」「私は忘れない」「うたおう命の歌を」「戦争に力貸さない」の4曲でした。

(山田力)

女性集会で歌唱指導 九州支部

歌の力が物語るもの 84

官邸前反原発行動 11/15 (370回) 報告 長島

参加者 スーさん、達哉くん、鈴木さん、葉子さん、坂口さん、長島、未来のための合唱の方ナベさん 計8名

やっと金曜日に参加できた。

霞ヶ関から坂道を登ると反原連のコールと、ドラムの音が聞こえてくる。菜葉坂では、スーさんと葉子さんが『私たちは許さない』を歌っていた。

お迎えの歌はスキップし『あたりまえの地球』『あなたに届け』他を歌う。達哉くん、鈴木さんが到着し、都支部コンサートで歌う歌について話し、練習をかねて歌った。今日は瓦井さんが来られないとのことだが、コンサートでは『オーイ人間』『菜葉坂賛歌』『私たちは許さない』を歌い、終わりにした。

水道橋だより

▼編集部へのメールを紹介します
▼北海道の笠木です。長岡の池乗さん(「ロングラップ島の雪」の作者)から訃報が届きました。▼新潟の岩崎守さんが亡くなりました。それにしても早い旅立ちです。ご冥福をお祈りすると共に情報の共有化をさせていただきます。▼あの当時、日音協の中心的存在でした。彼の歌はこれからも歌い継がれるでしょう。はたらくものの歌声よ、天まで届け!!
▼幌延集会。トラクターを先頭にデモ行進。写真を掲載します。



▼11月21日、秋田市において、第52回はたらくものの音楽祭秋田県実行委員会・第4回実行委員会が開催されました。▼実行委員会やスタッフの皆さんのつながりや、出迎え演奏など暖かい音楽祭でした。とお礼を述べてきました。その後駅前の大衆居酒屋で打上げをしました。参加者は一部負担ということで2000円会費でした。労組の委員長から「スポットライトをまかせてもらって楽しかったよ」と言ってもらって酒もすすみました。二次会の焼き鳥屋では、林野の木下さんと遭遇…(佐藤)

「ささい」をうたう予定という。久しぶりのピアノ力に音程はC調で高かったり低かったり、歌にくい演奏となっていました。ごめんなさい。『フクシマをくり返すな』を、未来のための合唱団のかたはオリジナル曲と聞いて新たな発見をしたような様子だった。

！』を、はじめからおわりまで力強く歌った。そして、達哉くんタイムが始まる。今日は4人(前は「今はひとり合唱団」)で『望郷』を歌う。達哉くんのこだわりはオブリガードを入れたという。達哉くんがソロを長島に帰りたいと入ってくれと言おう。次は自分が入るから「帰りたい」と歌えと、しっかりと切り、ついでに都支部コンサートのお知らせをしていた。

【追伸】 11月24日の日曜日 東京都北区にある滝野川会館において日音協東京都支部コンサートが行われる。私たちは、「反原発うたいたい」というグループとして、故ヨッシーといっしょに参加する。『オーイ人間』はヨッシーが紙芝居で歌った曲だ。おろかな人間に、原子力発電なんか止めよう、大事なものは何か問いかけるような歌だったよな。・・・瓦井さんのソロで歌う。

『菜葉坂賛歌』『私たちは許さない』はみんな歌おう。是非、都台のつく範囲でいっしょに歌いたい。

▼文化庁の日本語に関する世論調査で、半分以上の人が本来とは違う意味でとらえていることが分かった。▼「惘然(むげん)」は「失望してぼんやりしている様子」が本来の意味なのだが、「腹を立てている様子」とした人の方が多かった。「砂をかむよう」は、「悔しくてたまらない様子」と誤った意味で使う人が5割以上のことだったが、「受験生ブルース」という曲の歌詞に出てくるのでその曲を知っている人は大丈夫だろう。「御(おん)の字」も、本来の「大いにありがたい」を選択したのは37%で、50%は「一応、納得できる」と捉えていた。「破天荒」は「誰もなしえなかったことをすること」という本来の意味で使う日本人は17%程度しかいない一方、「豪快で大胆な様子」という意味だと思いついでいる人が65%近くもいた。▼「ざわり」は「話の最初の部分のこと」ではなく「話の要点」というのが正しい意味。「姑息」は「卑怯な」ということではなくて「一時しのぎ」という意味。「失笑」は、正しくは「こらえきれずに吹き出して笑うこと」なのだが、60%以上もの人が「笑いも出ないくらいあきれ」る」という意味で使っている今日では、もはや辞書に併記して掲載しないわけにはいかないかな？

どん行

(125)

飯島貞親